

第1回 安城市文化振興計画策定審議会（議事要旨）

日 時 令和7年7月4日（金）
午後3時から4時頃まで
場 所 歴史博物館 講座室

- 1 市民憲章唱和
- 2 辞令交付
- 3 委員紹介
- 4 教育長あいさつ
- 5 会長、副会長選任
- 6 諮問
- 7 協議事項
 - （1）審議のスケジュール
 - （2）中間目標の達成度の報告
 - （3）安城市文化振興計画改定のポイント案について
 - （4）市民ニーズ等の調査について
 - （5）文化芸術を取り巻く社会潮流について
 - （6）その他
- 8 その他

出席者

【委員】 森委員、品川委員、川崎委員、丸山委員、野口委員、花井委員、小山委員、鈴木委員、藍原委員（欠席：高山委員）

【事務局】 石川教育長、加藤生涯学習部長、朝岡文化振興課長、平井文化振興課長補佐兼芸術文化係長、野上学芸係長、西島文化財係長、芸術文化係（谷村）、文化財係（鈴木）

議事要旨

教育長あいさつ

- ・本計画策定当初、コロナ禍の影響で、人と人との繋がりが制限されていく中、文化芸術は人と人とを繋ぎ、潤いのある社会を形づくるために欠かせないものと改めて実感。
- ・多くの市民が主体的に文化芸術活動に関わることを通して心豊かに、活気ある未来が作られていくようなイメージを思い描きながら、ご審議よろしく願いをいたします。

会長・副会長選任

会長：品川委員、副会長：森委員

【会長あいさつ】

- ・この計画の重点の施策である、安城市のアートマネジメント講座が令和4年から始まりその講師と総合コーディネーターをずっと務めている。
- ・市民の皆様が文化芸術に主体的に関われる仕組み作りのためには、この計画は非常に重要な位置づけだと考えている。

協議事項

(1) 審議のスケジュール

意見なし

(2) 中間目標の達成度の報告

【委員】

成果指標③安美展の応募者数は出品される方が固定化しているかどうか。

成果指標④歴史博物館の入館者数はどんな動きになっているか。

成果指標⑤文化芸術関係事業参加者数及び市民ギャラリー入館者数 は基準値に対して伸び悩むところですがその背景や課題などはどのようなものか。

【事務局】

成果指標③安美展は、市民ギャラリー美術講座受講生や高校生など新しく出品にチャレンジされている方もいる。

成果指標④歴史博物館の入館者について、令和2年が54,000人、令和3年は57,000人という結果だった。令和4年に大河ドラマ「どうする家康」の放送があったことで12万人を超える入館者数になり、昨年度も好調な入館者数で、10万人近くの入館があった。

成果指標⑤文化芸術関係事業参加者数及び市民ギャラリー入館者数の減少については、ホール事業への参加者数の減少が主な理由。ホール事業に多くのお客様に来ていただけるような工夫を検討することが課題。

(3) 安城市文化振興計画 改定のポイント案

【委員】

第9次総合計画が令和13年度に終了するが、文化振興計画の終了年を2年延長し令和14年度の終了にするのは、何か意図あるか。

【事務局】

令和14年からの総合計画で新たに目指す都市像や重点施策が表明されるので、計画の策定に反映していく意図がある。

(4) 市民ニーズ等の調査について

意見なし

(5) 文化芸術を取り巻く社会潮流

【委員】

計画策定からの5年間で、どのような事業があつてどういった成果があつたかなどをふまえて見直してほしい。

【事務局】

見直しのポイントで、事業の実施状況を踏まえたアクションプログラム等を見直しというのを提案しているが、9月の審議会により具体的に審議いただく予定。

【委員】

- 1 点目 新しいコミュニティも一緒に、協働してやっていくという文言になるといい。
- 2 点目 人口の減少が進んでいく中で、伝統芸能などの伝承が難しくなっているが、例えば安美展の出品者は維持されている。そこをひとくくりにするには少し慎重が必要なのではないか。
- 3 点目 「超スマート社会の到来を見据えて」の文章について、具体的なイメージがわきにくい。
- 4 点目 「地域の人々を主体とし」という文言については、流動的な社会になっている中で、外からくる人々とともに作り上げていくという視点はとてもいいと思う。

【事務局】

例えば「伝統文化をはじめとした文化芸術」というような表記にするなどの部分も含め、そのほかいただいたご意見をもとに事務局案を見直していく。

(6) その他

【委員】

安美展について、市内の方の作品は減ってきている。安美展は公募展としてレベルを追求していくか、市民の方も気楽に出せる市民展に近いものとしていくのか、検討するタイミングでは。

【事務局】

事務局としても、市内へのPRにはもちろん力を入れているが、様々な方法を今後も検討していく。